筍山会会報第２５号
筍 たけのこ
2022 年　下期号
発行：筍山会
（野田たけひこ後援会）
船橋市薬円台 6−6−8
047−464−9333

安心して生きられる社会の実現！

誰もが幸せを感じられる未来へ

残暑お見舞い申し上げます。

６月２２日公示、７月１０日投開票の参議院選挙において、立憲民主党から千葉県選挙区では小西ひろゆきさんが３期目の当選、比例区では村田きょうこさんが初当選致しました。これも一重に皆様のご支持・ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

私は現在、立憲民主党千葉県連の選挙対策事務局長という役職にあり、千葉県内における選挙すべてに責任を持つ立場です。そのようなことから、千葉県内における参議院議員選挙の結果に関しては、なんとか責任を果たせたのではないかと安堵しているところです。しかしながら、参議院選挙全体において立憲民主党は、残念ながら厳しい結果でした。来春には、私の県議会議員選挙があり、それに全力を注ぐことは当然のことながら、千葉県内の仲間の選挙の後押しをするという責務にも、これまで以上に力を注がねばならないと、決意を新たにしたところです。皆様におかれましては引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、記録的な猛暑が続いています。そのような中、６月２６日には東京電力管内において、「電力需給逼迫注意報」が初めて発令されました。そして国は７月１日～９月３０日の３カ月間、全国の企業や家庭を対象に節電要請をしています。しかしながら、３５℃を超える暑さは、天気予報のキャスターの言葉通り「命にかかわる危険な暑さ」です。熱中症には十分ご注意され、エアコンでの節電ではなく、他の電化製品の節電をお心がけ下さい。特にご高齢の方は、暑さ寒さを感じにくくなるといわれていますので、室内の温度管理にはくれぐれもご注意下さい。

またコロナも第７波の真っ只中です。専門家の話によれば、感染拡大のピークはお盆頃だとのことで、この爆発的な感染拡大は当面続くものと思われます。猛暑で体力が低下する時期、コロナに感染すれば重篤化する危険性があります。皆様におかれましては体調管理に、これまで以上に気を遣って頂き、マスク着用、うがい、こまめに手指消毒する等、すでに身についた対策をこれからも継続して頂きますようお願い申し上げます。

幸福度の高い社会をつくる！

世界一の長寿国である日本では、平成１９（２００７）年に生まれた子ども達の半数が、１０７歳より長く生きると推計されており、まさに「人生１００年時代」が現実味を帯びてきました。日本人が長寿なのは、医療水準の高さ、国民皆保険制度のため医療費が比較的安く、病院にかかりやすいこと、また伝統的に成人病にかかりにくい食文化を持つこと等のお陰によるものと言われています。

しかしながら、長い人生の中で「幸福」を実感する時間や機会が少ないとしたならば、それは残念なことであり、変えていかなければなりません。

◇孤独・孤立について

昨年度の内閣府の調査では、ほぼ3人に1人の６０歳以上の男性が「家族以外に相談あるいは世話をし合う親しい友人が誰もいない」と回答しています。そして、その割合は７年前の前回調査よりも５．４％増えています。昨年のOECD加盟２０カ国を対象とした「社会的孤立者の割合」の調査でも、日本の社会的孤立者の割合は、諸外国に比べ、突出して高いという結果でした。

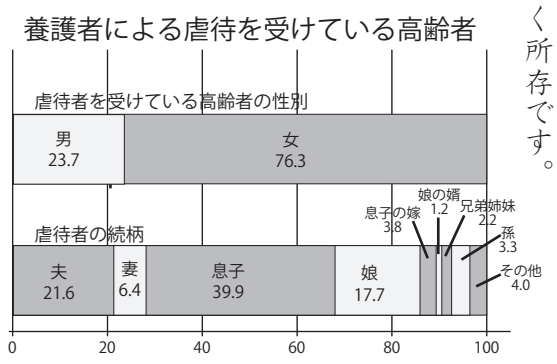
長い人生を幸福に、有意義に過ごすには、孤独・孤立に陥らないことが肝要です。そして国も、この深刻な状況を受けて、昨年に孤独・孤立対策担当大臣を新設しています。

本年２月の県議会の一般質問で、私はこの問題を取り上げ、まずは「本県における高齢男性の孤独・孤立についての、実態調査をすべきではないか」と提言しました。また内閣府の調査報告で「社会参加や社会との繋がりを重視する高齢者は、そうでない高齢者に比べ、生活の満足度が高い」とされていることから「高齢男性の社会参加や社会との繋がりを促すような取組を強化すべき」とも提言しました。

これに対し県は「市町村と連携して実態把握に努める」「高齢者の社会参加に向けた取組の充実を検討する」旨の答弁でした。

また、東京都において、２０１８年に発生した一人暮らしの孤立死は、５５１３件でそのうち７０％は高齢者です。さらに、家庭内で介護されている高齢者が、家族から虐待を受けた事例が２０２０年度に１万７２８１件確認されています。その調査では、虐待した人と被害者が２人で暮らす家庭が半数以上で、特に、息子から親へ、夫から妻への虐待が多いということです。男性が介護をする場合、家事に不慣れなうえ、地域とのつながりが薄く、孤立しがちになってしまうことが要因だと考えられます。

孤立死や虐待などの痛ましい事件を未然に防ぐためにも、今後も引き続きこの問題を注視していく所存です。



県政改革

（裏面へ続く）

一人で悩まないで！　もし、あなたが悩みを抱えていたら、その悩みを相談してみませんか。

◎千葉いのちの電話　☎043-227-3900（24 時間 365 日）
◎日本いのちの電話連盟　☎0570-783-556（午前 10 時～午後 10 時）
◎自殺予防いのちの電話　☎0120-783-556（毎日 午後 4 時～午後 9 時）
（毎月 10 日 午前 8 時～翌日午前 8 時）
◎よりそいホットライン　☎0120-279-338（24 時間）
◎こころの健康相談統一ダイアル（千葉県精神保健福祉センター）
☎0570-064-556（土・日・祝日・年末年始以外の 9 時～ 18 時 30 分）
◎チャイルドライン（18 歳までのこども）　☎0120-99-7777
（午後 4 時～午後 9 時　12/29 ～ 1/3 はお休み）
※コロナ禍で、時間等の変更がありますので、各ＨＰでご確認ください。

婚姻率の低下と少子化

◇結婚サポート事業について

国が人口統計で用いる用語に「50歳時未婚率」というものがあります。これは2017年頃までは「生涯未婚率」と呼ばれ、総人口に占める、50歳になった時点で一度も結婚したことのない人の割合を示す言葉です。

もちろん50歳を超えて初めて結婚するという方もおられますが、その割合は0・1％程度であること等から、国は統計学上、50歳時に未婚であることは、ほぼ生涯未婚であると捉えています。

昨年11月に、2020年に実施された国勢調査が発表され、50歳時未婚率は、男性25．7％、女性16．4％であることが明らかになりました。これは男性の4人に1人、女性の6人に1人が生涯未婚であるということであり、この50歳時未婚率は国勢調査が始まって以来、過去最高数値を記録しました。そして、この生涯未婚という流れは今後も続き、2040年には男性の30％、ほぼ3人に1人、女性の20％、5人に1人が生涯未婚になると推計されています。

2015年に国立社会保障・人口問題研究所が全国の年齢18歳以上50歳未満の独身者を対象とした「結婚と出産に関する全国調査」を実施しましたが、それによれば、いずれは結婚しようと考える未婚者の割合は男性85．7％、女性89．3％で、男女ともに結婚願望は高く、未婚を望んでいるわけではありません。また、異性の交際相手をもたない未婚者は、男性69．8％、女性59．1％と増加の傾向にあることがわかりました。現在は、価値観が多様化し、生き方が様々になっていますが、独身でいる理由として、男女ともに回答の第1位は「適当な相手にめぐり会わない」ことでした。

国勢調査が始まった1920年から70年後の1990年まで日本の50歳時未婚率は一貫して5％以下で推移しており、ほとんどの男女が結婚しています。昔と今の結婚をめぐる環境に、どのような変化があったのでしょうか。その一つに「見合い結婚の減少」が挙げられます。1940年代、結婚全体に占める見合い結婚は69．0％、恋愛結婚は13．4％でしたが、2010年台に入ると、恋愛結婚が87．7％で見合い結婚はわずか5．5％に減少し、見合い結婚の減少に反比例するかのように、50歳時未婚率は増加しています。

行政も民間の結婚相談所だけでは十分ではないと、現在、46都道府県で結婚サポート事業を展開していますが、結婚サポート事業がないのは千葉県だけです。

出会いの場を提供する等、私は9月に開会される県議会において、千葉県でも若年時から人生についての理解を深め、結婚・家族づくりを学べる『ライフデザイン講座』等を含め、結婚サポート事業を立ち上げるよう働きかける所存です。

また、「50歳時未婚率」の増加の理由として「令和3年版少子化社会対策白書」によると、年齢別有配偶者率は、正規雇用者が高く、非正規雇用者は低い結果となっています。また、25～35歳までの男性のいずれの年齢階級も、年収が高いほど配偶者がいる割合が高く、不安定な雇用形態や所得格差の拡大が結婚意欲に大きく影響を与えているとされています。雇用形態や所得格差の是正をしなければ、「50歳時未婚率」はさらに増加し、「出生率」の減少に歯止めはかからないのではないでしょうか。幸福度の高い社会を作る上で、これらの問題には早急に取り組む必要があります。

昨年の世界幸福度ランキングにおける日本の順位は56位でした。これは国内総生産（GDP）や、社会保障制度、健康寿命等の数値は上位にランクされたものの、「人生の自由度」や「他者への寛容さ」の値が奮わず、一昨年の54位から順位を2つ下げています。

少しでも多く「幸福」を実感できる時間や機会を提供していくことが政治の使命であり、私は皆様の「幸福度」を高めるために、これからもしっかりと提言し、尽力する決意です。

野田たけひこ

平穏な日常生活を

筍山会会長　橋本英世

こんにちは。コロナ禍で迎える3度目の夏となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今、地球上で大きな事件やあってはならない戦争やパンデミックが続く中、不安な思いをされている方も多いと思います。私もその一人です。

そんな時であっても、努めて日常を止めないことが大切だと思います。私の日常は犬の散歩から始まっていました。どんなに眠い朝でも早く出掛ける日であっても、それより先に30分犬と散歩することは、尾を振って待っている犬の為だけでなく私の生活のリズムだったと思います。そんな家族の一員であった愛犬が15歳3ヶ月でつい先日旅立ちました。それは寂しくもあり、また心から「ありがとう」と思えるひとつの節目でもあります。平穏な日常生活を送れることに感謝して散歩は続けようと思います。当面は一人で・・・。

朝の通勤・登校の姿を見送り、四季の移ろいを肌で感じながら、今日は〇曜日だから野田兄弟の駅頭活動は〇〇駅だなとも思っていました。その駅頭活動を30年以上も続けている野田兄弟の日常は素晴らしいと思います。

今後とも野田剛彦県議の活躍を見守りつつ、何気ない日常を過ごせる幸せをどうぞ皆様も大切にされますよう願っております。

しゅんざんかい 筍山会からのお知らせ

◇新規会員募集

筍山会では、新規会員を随時募集しています。ご友人、ご親戚の方などをご紹介ください。

会費は、半年ごとに一口1000円です。何口でも納入して頂くことができます。半年ごとに郵送する会報「筍（たけのこ）」に振込用紙を同封します。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

なお、政治資金規正法により、**企業献金は受け付けられません**ので、お振込みは個人名でお願い致します。

◇ボランティア募集

野田たけひこ本人が、主要駅近辺で街頭活動をしています。野田たけひこと一緒にビラ配りをしていただけるボランティアの方々を大募集中です。お気軽にご連絡下さい。

◇ホームページ

筍山会のホームページでは、野田たけひこの県政活動報告や、「県政改革」を随時更新するほか、様々な情報を発信しています。左記アドレスまたはQRコードより是非ご覧下さい。

県政改革

http://www.shunzankai.com

メール nodatake@shunzankai.com

◇ご意見

野田たけひこへのご意見、県政へのご要望など、皆様の声をお聞かせ下さい。左記住所へ郵便、または電子メールでお送り下さい。

〒274-0077
船橋市薬円台
6-6-8
筍山会事務所
047-464-9333